4 システムの管理

この章では、Webベースの運用管理ツールである「Management Console」を利用した設定・管理について説明します。

Management Consoleについて

ネットワーク上のクライアントマシンからWebブラウザを介して表示されるのが「Management Console」です。Management Consoleから本装置のさまざまな設定の変更や状態の確認ができます。

利用者の権限

本装置の管理者は「システム管理者」と呼ばれ、さまざまな管理権限を持ちます。
システム管理者のユーザー名は「admin」ひとりだけです。

Management Consoleのセキュリティモード

Management Consoleでは、日常的な運用管理のセキュリティを確保するためManagement Consoleに2つのセキュリティモードをサポートしています。

- **レベル1（パスワード）**

  パスワード認証による利用者チェックを行います。ただし、パスワードや設定情報は暗号化されません。

- **レベル2（パスワード + SSL）**

  パスワード認証に加えて、パスワードや設定情報をSSLで暗号化して送受信します。自己署名証明書を用いていますので、ブラウザでアクセスする際に警告ダイアログボックスが表示されますが、[はい]などをクリックしてください。

デフォルトの設定では、「レベル2」となっています。セキュリティレベルを変更する場合は、Management Console画面の[Management Console]アイコンをクリックして設定を変更してください。また、同画面で操作可能ホストを設定することにより、さらに高いレベルのセキュリティを保つことができます。

システム管理者のメニュー

ここではシステム管理者が利用できるさまざまなサービスの設定や操作方法などを説明します。

Management Consoleへのログイン

システム管理者は、Management Consoleを利用することにより、クライアントマシンのWebブラウザからネットワークを介してManagement Consoleのあらゆるサービスを簡単な操作で一元的に管理することができます。以下に各セキュリティモードにおけるアクセス手順を示します。

重要

- **Management Consoleへのアクセスには、プロキシを経由させないでください。**
- **レベル2では、HTTPSプロトコル、ポート番号50453を使用します。**

レベル1の場合

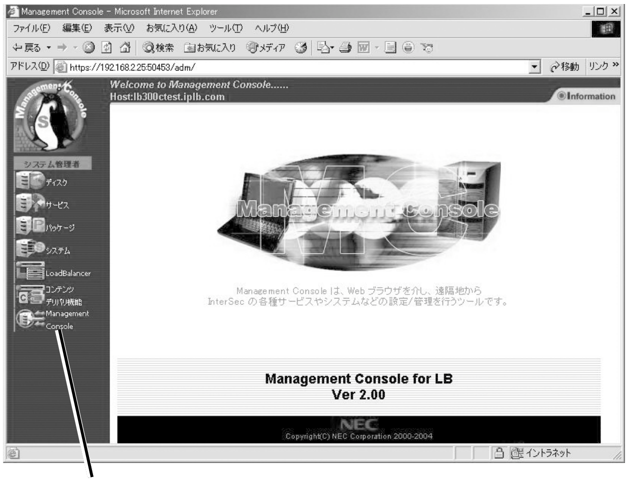
1. クライアントマシンでWebブラウザを起動する。
2. [アドレス](または[場所]など)に「http://<本装置のIPアドレスまたはFQDN>:50090/」と入力する。
3. 「Management Console」画面で、[管理者用]をクリックする。
4. ユーザー名とパスワードの入力を要求されたら、ユーザー名には「admin」、パスワードにはセットアップ時に指定した管理者パスワードを入力する。

レベル2の場合

1. クライアントマシンでWebブラウザを起動する。
2. [アドレス](または[場所]など)に「https://<本装置のIPアドレスまたはFQDN>:50453/」と入力する。
3. 警告ダイアログボックスが表示されたら、[はい]などをクリックして進む。
4. [Management Console]画面で、[管理者用]をクリックする。
5. ユーザー名とパスワードの入力を要求されたら、ユーザー名には「admin」、パスワードにはセットアップ時に指定した管理者パスワードを入力する。

Management Consoleにログインできたら、次に示す画面が表示されます。

システム管理者用トップページ



ブラウザ上から設定した項目(アイコン)をクリックすると、
それぞれの設定画面に移動することができる。

【Management Consoleの画面構成】

■ システム管理者用トップページ

- ディスク*1
- サービス*1
- パッケージ*1
- システム
- LoadBalancer(3章を参照してください)
- コンテンツデリバリ機能*2
- Management Console

*1 本書では説明していません。Management Consoleのオンラインヘルプを参照して操作してください。

*2 本書では説明していません。CD-ROMに掲載されているオンラインマニュアルを参照して操作してください(ファイルパス:/nec/Linux/99iplb/doc/contents.pdf)。

システム

Management Console 画面左の[システム]アイコン をクリックすると[システム]画面が表示されます。



システム停止／再起動

[システム]画面の[■ システム停止／再起動]一覧から[システムの停止]、および[システムの再起動]を実行できます。



システムの停止

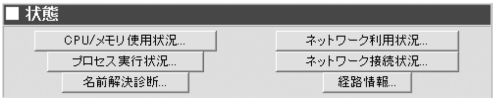
[システムの停止]をクリックすると「システムを停止します。よろしいですか?」とダイアログが表示されるので停止する場合は[はい]を、停止したくない場合は[キャンセル]をクリックしてください。
[はい]をクリックすると、シャットダウン処理をした後、システムの電源がOFFになります。本体前面のPOWERランプが消灯したことを確認してください。

システムの再起動

[システムの再起動」をクリックすると「システムを再起動します。よろしいですか?」とダイアログが表示されるので再起動する場合は[はい]を、再起動したくない場合は[キャンセル]をクリックしてください。
[はい]をクリックすると、シャットダウン処理をした後、システムが再起動します。

状　態

「システム」画面の「■ 状態」一覧から以下のシステム状態を確認できます。詳しくはManagement Consoleのオンラインヘルプを参照してください。



- **CPU／メモリ使用状況**

  CPUとメモリの使用状況をグラフと数値で表示します。約10秒ごとに最新の情報に表示が更新されます。

- **プロセス実行状況**

  現在実行中のプロセスの一覧を表示します。

- **名前解決診断**

  DNSサーバの動作を確認することができます。

- **ネットワーク利用状況**

  ネットワーク利用状況を各ネットワークインタフェースごとに表示します。約5秒ごとに最新の情報に表示を更新することができます。

- **ネットワーク接続状況**

  各ポートごとの接続状況を表示します。約5秒ごとに最新の情報に表示を更新することができます。

- **経路情報**

  「相手ホスト:」にホスト名を入力して「表示」をクリックすると、そのホストまでの経路情報を表示します。

その他

「システム」画面の「■ その他」一覧から、以下の機能を利用できます。詳しくはManagement Consoleのオンラインヘルプを参照してください。



- **システム情報**

  装置に割り当てたホスト名、およびOSに関する情報が表示されます。

- **AFT/ALBモード**

  標準ネットワークインターフェースの動作モードを設定することができます。

- **ネットワーク**

  ネットワーク設定を行うことができます。

- **バックアップ／リストア**

  本装置では、「バックアップ」を使用する必要が特にありません。Management Consoleに接続し、[LoadBalancer]アイコン→「バックアップ」ー「設定情報のセーブ」をクリックして、設定情報をセーブしてください。設定情報をロードするには、[LoadBalancer]アイコン→「バックアップ」ー「設定情報のロード」から行ってください。

- **管理者パスワード**

  管理者「admin」のパスワードを変更します。各パスワードは6文字以上8文字以下の半角英数文字(半角記号を含む)を指定してください。

- **ログ管理**

  システムのログファイルの表示およびファイルのローテーションの設定を、各ログファイルごとに行うことができます。

- **LB基本設定**

  コーディネータ、バックアップコーディネータ、分散ノードで使用する通信ポートの設定、死活監視の冗長デバイスの設定、負荷分散転送インターフェースの設定ができます。

- **時刻設定**

  システム時刻を設定できます。

- **セキュリティ**

  TCP Wrapperの設定を行います。

- **システム起動待ち時間**

  通常は設定変更の必要はありません。クラスタ構成にする場合に必要に応じて設定してください。

~Memo~